

三重県多気郡明和町 国史跡齋宮跡

齋宮跡の史跡整備を語るつどい

へのご案内

飛鳥時代から南北朝時代にかけて、伊勢につかわされた齋王の宮殿跡「齋宮跡」の一画に、平安時代の木造建築と、大規模な都市計画の一部を再現しようとしています。

この平成の一大事業を実りあるものにするために、多くの方々といっしょに学び、古代の都市や建築について考えてみませんか。

第一回 齋宮跡の史跡整備を語るつどい

平成22年7月17日（土）13時30分から16時（予定）

場所：いつき会館（齋宮地区コミュニティセンター）

多気郡明和町竹川1050番地2

※詳細は裏面をごらんください。

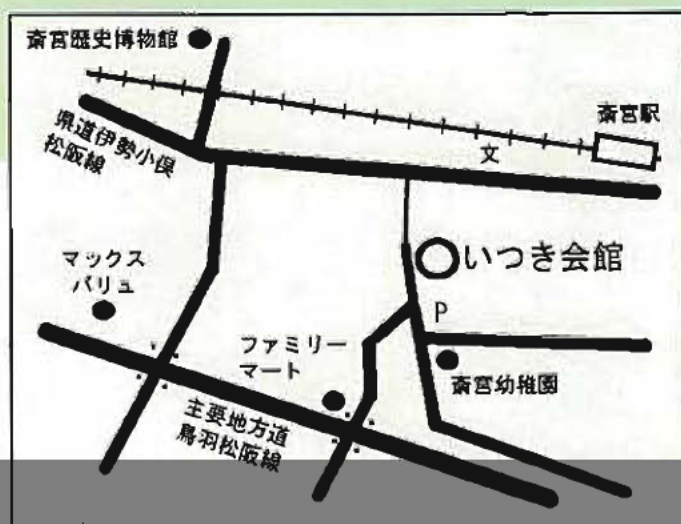
主催 齋宮歴史博物館・明和町

問合先 齋宮歴史博物館調査研究課

〒515-0325

三重県多気郡明和町竹川503番地

Tel 0596-52-3800（代表）



昨年度策定した「史跡斎宮跡東部整備事業基本計画書」に基づき、平成 22 年度から本格的に斎宮跡東部の整備事業がスタートしました。これを機に、史跡と周辺地域のみなさまや、斎宮跡の史跡整備に関心を寄せる方々を対象に、史跡整備に関する情報の提供と、よりよい整備を目指した意見交換を行い、地域・行政・専門家がともに斎宮跡の史跡整備のために学ぶ場を創造したいと考えます。

第一回目としては、東部整備事業実施設計の基本的な考え方を多くの人たちに知っていただくとともに、広く意見交換することで、これからの設計事業の参考としたいと考えています。

また、この事業の目玉でもある平安時代の建物の立体復元案について、原案の作成をしていただいた黒田先生より、その基本的な考え方や、建物の検討から窺える斎宮の建物の面白さなどをお話いただきます。

- 1 開催日時 平成22年7月17日(土) 13時30分から16時(予定)
- 2 会場 につき会館 (斎宮地区コミュニティセンター)
三重県多気郡明和町竹川1050番地2
- 3 対象 史跡周辺地区住民・史跡斎宮跡の整備事業に関心を持たれる方
関係行政職員
- 4 参加方法 無料 先着100名とします。
会場前の駐車場は狭いため、お車でおこしの方は、につき会館南の斎宮幼稚園駐車場に駐車してください。
- 5 内 容
・《基調報告》「史跡斎宮跡柳原区画の整備の本格スタートに立って」
・史跡斎宮跡東部整備の実施設計についての提案
(株) 文化財保存計画協会
・立体復元する建物の復元検討について
黒田龍二氏 神戸大学大学院工学研究科准教授・斎宮歴史博物館研究員
《意見交換会》
・基調報告をもとにした会場参加者との質疑応答
- 6 主催者 斎宮歴史博物館・明和町

《「第二回斎宮跡の史跡整備を語るつどい」－「斎宮跡の史跡整備とまちづくり」のご案内》

- ・日時 平成22年10月9日(土) 13時から16時30分(予定)
- ・場所 斎宮歴史博物館 講堂
- ・斎宮跡の史跡整備を、文化遺産の単なる保存・活用にとどまらず、地域のまちづくりにつなげていくためにはどうすればいいのか？ 専門家の見解や先進地の事例を織り交ぜつつ検討して行きます。詳細は後日。請うご期待。